私の願い

女と男の双子として生まれ
「男と女、逆だったらよかったのに」と
何度言われたことか。
女らしさ、男らしさって何だろう。
人はそれぞれ違うもの、
みんな、ちがうことこそ素晴らしい。

18の時、薬害スモンの被害者と出会った。
治療のために飲んだ薬で
体を蝕まれた人たち、痺れる体をおして、
製薬会社や厚生省の閉ざされた門の前に
立っていた。
人の命よりも金儲けを優先させる
社会の仕組みを知った。

22で、重度障害者と出会った。
地域で生きていきたいという
強い意志を知った。
介助者として過ごした15年、
社会全体で支えなければと
心に刻んだ。

42で議員になって16年間、
様々な市民活動に取り組みながら
議会で発言してきた。
今、91歳の認知症の母と暮らしながら
認知症になっても楽しく暮らせる街づくりのために
力を尽くしたい。
格差がひろがる社会に抗し、
こどもの貧困の連鎖を食い止めたい。
差別のない、非暴力で、平和な世界を目指し、
地域での活動をつなげていきたい。

91歳認知症の母と一緒の ボランティアグループ七草の会の活動紹介

日曜カフェ

障害者グループホームピアホームにて（西日暮里2−2−6）
毎週10−15時　高齢者も、障がい者も、子どもも集える居場所を開催。母が調理や食器洗いに活躍。

三河島いきいき教室

介護予防を目指し、高齢者の趣味の居場所を運営。麻雀・折り紙・フラワーアレンジメント・漢詩・絵手紙・ゲーム・なつかしの歌謡曲・ボイストレーニングなど週3〜4日。母は会食とフラワーアレンジに参加。

介護施設で歌声サロン

特養、老健、デイサービス10か所で月1〜2回。母も参加。

街なか花壇

西日暮里2丁目北児童遊園で土いじり。日曜カフェでもみんなで手入れ。緑を花をもっと楽しもう。

あなたも せの喜代を応援する会へ

目 的　せの喜代の政治活動を応援する事を目的とします。
会 員　この会に賛同する個人を会員とします。
会 費　1年1口1,000円とします。
郵便振替　00130-9-85130　せの喜代を応援する会

プロフィール

1956年生まれ。民間企業に20年勤務。市民運動・障害者の介助ボランティアを担う。
元荒川区公立保育園父母の会連絡会会長。
有機野菜・低温殺菌牛乳共同購入世話人。
1999年荒川区議会議員初当選。
荒川国際平和展実行委員会、介護サービスを良くする会・荒川（介護施設で歌声サロン、健康マージャン教室など）、夢サロン地域ケア研究会、認知症サポーター劇団あら笑座、尾久の原愛好会（都立公園の自然観察・保護）、NPO法人フリージア（車内でパンを焼く移動パン工房等障がい者の就労事業）、あらかわ冒険遊び場の会、地域・動物共生ネット、ゆきやなぎの会（男女平等に向けた活動団体）など、市民団体を立ち上げてきた。現在、ボランティアグループ七草の会代表。

せの喜代を応援する会
〒116-0013　荒川区西日暮里2-13-8
Tel/Fax:03-3891-0203 E-mail:senokiyo@yahoo.co.jp
http://senokiyo.sakura.ne.jp/

内部討議資料（再生紙を使用しています）

せのきよ

瀬野喜代

子育て、介護・環境を大切に、市民参画で街づくり

無所属市民派
民主党 緑の党 推薦